

## 令和7年度 福岡県中学校サッカー大会申し合わせ事項(訂正版)

- 1 日本サッカー協会制定の《2024/25競技規則》及び本大会要項を適用する。
- 2 競技者は競技規則を遵守し、監督やコーチもフェアプレーを第一に考えて試合に臨む。
  - ① ベンチマナーに留意すること。
  - ② ベンチにはいることができるのは、登録されたチーム役員3名(引率者・監督・コーチ)、交代要員7名の10名以内とする。交代要員以外の選手・保護者等は制限区域以外・観覧席で応援すること。管理職の先生については、本部席での応援とする。登録された選手の変更は、大会1日目の受付時の選手変更届にて変更する。
  - ③ チーム帯同のトレーナーは、本部で待機し、その試合に対しての指示等はしないこと。  
帯同トレーナーがいる場合は、MCMにチーム責任者とともに参加させ、確認すること。  
また、トレーナーに診てもらった場合は、審判団に許可を得て治療等を行うこと。
  - ④ プレーに関する事実について、主審の決定は最終である。プレー中における審判の判定に対する異議がないようにすること。また、審判員に対する批判や中傷について、報道関係を含め慎むこと。
  - ⑤ 主審は、ベンチから判定に対する異議や不服とみなされる言動があった場合、役員を退席させたり、交代要員を退場させることができる。
- 3 メンバー表およびマッチコーディネーションミーティングについて
  - ① 試合開始70分前に、マッチコーディネーションミーティングを行うのでチーム責任者は出席すること。
  - ② メンバー表は、マッチコーディネーションミーティング時に提出して承認を得る。4部準備すること。
  - ③ ユニフォームの確認を行うので、FP・GKのシャツ・ショーツ・ソックスを2種類ともに、
    - a、実際のユニフォーム
    - b、タブレット、スマートフォンなどを用いて画像
    - c、カラープリントをラミネート加工以上、a～cのいずれかの方法で持参すること。bもしくはcの方法で持参する場合は、全体、シャツのみ、ショーツのみ、ソックスのみの4種類を準備すること。  
ユニフォームが同色の場合は、主審立会いの下、協議を行い、主審の決定に従う。(ピブスは不可)
- 4 ユニフォームについて
  - ① シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手番号を付けること。
  - ② 審判員と同一色または、類似色(黒または紺)のユニフォームをシャツに用いることはできない。また、ショーツとソックスは黒または紺のみでも可。両方が黒または紺であるものも可。ゴールキーパーについても同様である。
  - ③ ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、同色であれば着用することができる。  
また、GKのショーツ、ソックスはFPと同系色でもよい。
  - ④ アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツの色は問わないが、シャツ、ショーツの主たる色と同色のものが望ましい。  
原則としてチーム内で同色のものを着用する。
  - ⑤ ソックスバンドやテープを使用する際は、ソックスの主な色と同色。または、チームで統一された別の1色でも可。
- 5 ウォーミングアップについて
  - ① 大会1日目のフィールド内のウォーミングアップについては、第1試合のみ試合開始の**25分**前から10分間行うことができる。第2試合は、前の試合のハーフタイムの**10分**間のみとする。  
大会2・3・4日目のフィールド内のウォーミングアップについては、試合開始の**25分**前から10分間行うことができる。
  - ② 試合中のウォーミングアップについては、各会場の指示に従うこと。
  - ③ 試合前のウォーミングアップは、各会場のアップ会場で行う。なお、次ゲームのチームを優先すること。
- 6 試合について
  - ① 試合開始**4分**前に、選手の確認と用具の点検を行い、不備な点があっても試合開始は遅らせない。  
何らかの理由で試合が延びて次の試合時刻を超えた場合、その試合終了後ただちに次の試合を開始する。
  - ② 延長戦やPK戦が行われる場合、選手は一旦ベンチに戻り休憩・飲水・監督の指示等を受ける。  
その際交代要員はピブスを着用し、競技者と明確に区別できるようにすること。
  - ③ 警告や退場については、大会要項通りで、退席になった役員の処遇についてもそれに準ずるものとする。  
なお、大会規律委員会は、会場責任者・審判委員長・開催地区中学校体育連盟会長及び理事長・福岡県中学校体育連盟サッカー競技専門委員会にて組織する。
  - ④ 選手の交代についても、大会要項通りを行う。ただし、GKが負傷し交代を余儀なくされた際は、セカンドキーパーと交代するのが通常だが、チームの事情によりフィールドプレーヤーがゴールキーパーを務める場合は、フィールドプレーヤーのときと同じ番号のゴールキーパーユニフォームで出場すること。  
また、通常通りセカンドキーパーと交代したのだが、そのセカンドキーパーも負傷した場合は、ファーストまたはセカンドのキーパーユニフォームを借りてプレーすることを認める。  
PK戦時にFPがGKとして出場する場合はFPの2ndユニフォームに着替えて出場することを認める。
  - ⑤ 負傷した競技者については、主審の判断により当該チーム役員1名をフィールド内に入れることができる。  
その場合、水の持ち込みは良いが、スプレー等での治療はフィールド外で行う(GKは除く)。負傷などにより主審の許可を得てフィールドから退いた競技者が再入場する場合は、主審の許可を得てから入場すること。
  - ⑥ 競技中の飲水については、あらかじめ準備されたやわらかい容器をタッチラインまたはゴールラインから1m以上離れた場所に置いておく。容器の中身は水のみで、保冷の為に小さな氷と一緒にしておくことは認める。
  - ⑦ テクニカルエリア内では、本大会が認めたベンチ内の役員に限りその都度1名が戦術的指示を与えることができる。  
その際、責任ある態度で行動すること。
  - ⑧ 試合前のセレモニーについては、**シェイクハンド**で行う。
- 7 競技者の用具について
  - ① ミサンガ、ギブスなど装飾品や固定具をつけての出場は認めない。やむを得ない理由がある場合は、事前(安全チェック時)連絡し、了承を得てからのみ出場を認める。

- ② すね当ては必ず着用し、ストッキングに覆われていなければならない。PK戦による次回戦進出や上位チームの決定になった場合でも外すことは認めない。

#### 8 施設使用上の注意事項

- ① 会場内は禁煙。
- ② ごみは各自で持ち帰る。
- ③ グラウンド、トイレ等の施設ではエチケット・マナーを守って利用すること。
- ④ 各施設毎に決められているルールを遵守すること。

#### 9 熱中症対策について

- ① WBGT＝25℃以上の場合には1分程度の「飲水タイム」を、WBGT＝28℃以上の場合には3分間の「Cooling Break」を行う。
- ② 「飲水タイム」もしくは「Cooling Break」を設定する場合は、試合開始前、後半開始前を目安にその旨を知らせる。
- ③ 「飲水タイム」および「Cooling Break」の定義については、(公財)日本サッカー協会が策定した熱中症対策ガイドラインに示されたものに沿う。
- ④ 「飲水タイム」はあくまでも飲水のための時間であるが、「飲水タイム」時に体を冷やす目的でスポンジとタオルの使用を認める。ただし「飲水タイム」時に、ミスト(霧吹き)を使用することやひしゃくでバケツの水をかけること等は、時間がかかるので認めない。
- ⑤ 「飲水タイム」および「Cooling Break」とは別に、従来どおり、アウトオブプレーのときに、ライン上で飲水できる。
- ⑥ 飲水に関し、ピッチ内は水のみとし、ベンチ内では各会場の指示に従うこと。
- ⑦ 延長戦に入る前には、3分間のインターバルをとる。またPK方式により次回戦に進出するチームは決定する場合には、1分間のインターバルをとる。いずれの場合も選手はベンチに戻り休憩することを許可される。

#### 10 その他

- ① アディショナルタイム表示を行う。
- ② 競技中に交代要員がウォーミングアップを行う場合は、ベンチの脇とし、競技中の選手と異色の服装でボールを使用せずに行うこと。ウォーミングアップをしていない時は、ベンチに座ること。
- ③ トーナメント表の左側のチームが、フィールドに向かって左側のベンチとなる。
- ④ すべての会場での鳴り物の応援は禁止。拍手と声援のみで行う。
- ⑤ 雷により競技が中断した場合の再開は、競技規則に則る。また、自然災害による中断再開は福岡県中学校体育連盟と協議、決定する。試合再開については、中断した状況から再開する。
- ⑥ 受付時に大会参加料を収める。
- ⑦ 大会プログラムの登録メンバー人数分(1部500円)購入のお願い。